

西高ドリームプロジェクト

「私の夢」

学年組	2 1	ふりがな	やましたしおり
		氏名	山下詩央里 (西高山岳部)

タイトル	富士山より高い山に登りたい！ 西高山岳部
内容	<p>山に登るからには、道内の山で満足するのではなく、もっと高い山を目指したい。広い世界に出て、日本一の富士山よりも高い山、日本には絶対味わうことのできない、4000メートル以上の標高の山を体験してみたい。</p> <p>過去には、高校山岳部でも海外の山に挑戦した例は、立川女子高校や鈴鹿高校などがあることも知り、自分たちにも挑戦できる山があるのではないかと考えた。北海道では過去に北星女子高校が富士山に登ったが、海外登山の例はない。北海道のなかで初めての海外登山を経験してほかの学校に差をつけたい。</p> <p>今まで山岳部では、日常の練習（走り込みや筋トレ、三角山・円山ランニング）に加えて、厳しい冬のなかのキャンプ訓練や春合宿（ニセコチセヌプリ）、また日頃の練習登山や支部大会で登る山への事前登山や支部大会へ参加した。</p> <p>過去に登山した経験のある顧問の先生のアドバイスとインターネットの情報でマレーシアのキナバル山が4000メートル峰では比較的登りやすく、またキナバル山に登るツアーもあることがわかった。私たちはアイゼンやピッケルなどの冬山登山技術には乏しいので、冬場でも雪がなく、かつ4000m以上の標高のある山を探したところ、キリマンジャロや南米の山も視野に入れたが熱帯地域の植生の調査や国際交流もはかれるキナバル山を選んだ。</p> <p>キナバル山の下は熱帯のジャングルから始まり、荒涼とした岩の台地がひろがる、私たちの経験したことのない未知の世界だ。そこで、キナバル登山に向けての練習メニューの強化なども含め、自分たちの限界まで挑戦し行ったことのない国に行き、何も知らない土地を実際に自分たちの目で見て未知の体験を楽しむことで、自分を見つめ、狭い日本とは違ったものの見方や価値観やさらに自分の将来の新たな夢も見つけることができるかもしれない。</p> <p>私たちはどうしてもキナバルに登りたい。キナバル山にとっても魅力を感じている。キナバル山は熱帯のジャングルであり、私たちがこのまま日本にいたら一生見ることのできない熱帯植物や、野生のオランウータンが生息している山だ。キナバルの山域はユネスコ世界遺産に登録されており、世界で数少ない美しい自然にとってもひかれた。確かに標高は4000mを超しているが、登山が困難な山ではない。だが、4000m級でキナバルほど多様な生物が生息している山はほかにはない。ほかの山に比べ登山客が海外各国から集まるため、マレーシア以外の文化との交流もできる。また、私たちには初めての海外登山となり、私たちの技術で登ることのできる山としてふさわしいと思っている。そして、標高4000mの世界は日本には決して味わうことのできない。自分たちの足で標高4000mに向かっていくことで、知らない世界に触れて、山を登ることでしか得られない感動を絶対に味わいたい。</p> <p>さらにマレーシアの人々とのふれあいは、自分たちのこれまでの生活での価値観や視野の狭さを、きっと大きく変えてくれると思う。</p> <p>以上のことから、山岳部の次の合宿として、富士山より高いキナバル山をみんなで目指したいと思い応募を決めた。</p> <p>キナバル登山の他にもマレーシアでできることをしようと考えている。オランウータン保護区のエコツーリズムや保護活動へ参加をしたい。また、マレーシアは太平洋戦争で戦場となっている。日本の支配下にも置かれ、捕虜が何日も強制移動させられた死の行進など、日本人が知らなくてはならないことが多いと思う。だが現実、私たちは自国が過去に他の国に及ぼした戦争の被害はほとんど知らない。これらのことを自分たちの目で見て、帰国した後に周りのひとにしっかりと伝えていきたいと思っている。※詳細は計画中</p> <p>今後山岳部では、日常練習を強化していく。普段の三角山登山練習時に縦走を想定し、重たい装備を背負うメニューや、学校敷地の外周のランニングの増加を通して体力の増強をはかる。また、筋持久力を鍛えるために普段より長距離を時間をかけて走るトレーニングなども積極的に取り入れていく。(以前は西高校から大通り公園</p>

	 <p>て海外で過ごすことを体験し、現地の方と会話を交わして将来やるべきことはなにかを知るための経験をしたい。</p>	<p>の往復) ほかにも体力面だけでなく知識の面で、天気や動植物の調査もしていく。夏には 黒岳・白雲岳・旭岳 の3泊4日の大雪山縦走を行う。昨年度までは2泊3日(黒岳・旭岳)の合宿メニューであったが、今年からはさらなる体力と登山技術の向上を図る。秋には秋季大会に出場予定。</p> <p>私は将来、日本をでて NGO や国連などの国際関係の仕事がしたい。いまでも青年海外協力隊の方とメールのやり取りをしているが、現地のことは現地に行かなければ決してわからないということを教えていただき、痛感した。キナバル山登山を通し</p> 
行動計画	<p>2012年8月~</p> <p>2012年12月~</p> <p>2012年1月~</p> <p>2012年2月~</p> <p>2012年3月~</p>	<p>キナバル山の植生・生態系の事前調査、登山計画、登山練習開始(内容参照)</p> <p>登山準備</p> <p>キナバル山登山、事前調査をもとに自然観察(山岳部7名)</p> <p>登山記録に基づいた登山レポート作成</p> <p>レポートの発表、プレゼンテーション</p>

<予算見積もり>

費目	内 容	金 額
ツアー費	アルパインツアーサービス Mt.キナバル登頂5日間 198000×7名	1386000 円
燃油サーチャージ費	空港使用料、燃油付加料金 29440×7名	206080 円
食糧費	行動食、朝食・昼食・夕食代 7人分	20000 円
渡航費	新千歳空港 - 成田空港 往復 33600×7名	235200 円
	マレーシアでの研修(エコツーリズムへの参加など) 7000円×7名	49000 円
	合 計	1896280 円